

事項	チモシーの早生品種「ホライズン」の特性		
ねらい	本県に適するチモシー品種を選定するため、流通品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「ホライズン」は既存の奨励品種「ノサップ」に比較して収量性に優れ、その他の生育特性も同等か優れることが明らかとなったので普及に移す。		
普及する内容	<p>1 品種の来歴</p> <p>雪印種苗株式会社が平成7年に合成品種法で育成した品種である。現在、北海道及び岩手県で優良品種として採択され、普及に移されている。</p> <p>種子は雪印種苗株式会社が販売している。</p> <p>2 特性の概要</p> <p>(1) 発芽良否：「ノサップ」より良好である。</p> <p>(2) 早晚性：出穂始めは「ノサップ」より2日早い早生品種である。</p> <p>(3) 収量性：年間の乾物収量は3か年平均で「ノサップ」比120%と多収である。また、各番草とも「ノサップ」を上回る。</p> <p>(4) 越冬性：「ノサップ」と同等に優れる。</p> <p>(5) 春の草勢：「ノサップ」より優れる。</p> <p>(6) 耐倒伏性：倒伏の発生程度は極めて軽微であり、「ノサップ」と同等である。</p> <p>(7) 耐病性：「ノサップ」と差がない。</p> <p>(8) 草丈：1番草、2番草ともに「ノサップ」より高い。</p> <p>(9) 永続性：利用3年目の最終刈り後の基底被度は88%で永続性は良好である。</p>		
期待される効果	牧草の安定多収生産に寄与する。		
普及上の注意事項	採草用として利用する。		
担当部署 (担当者名)	畜産研究所 酪農飼料環境部 (逢坂憲政、芦田倫子)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成21年度 東北農業試験成績・計画概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 生育特性 (平成18～21年 青森畜産研)

形 質	品 種 名		備 考 (評点法)
	ホライズン	ノサップ (標準)	
発芽良否	8.7	7.3	1 (極不良) ~ 9 (極良)
越冬性	9.0	9.0	〃
早春の草勢	7.6	6.9	〃
出穂始期 (月・日)	6. 4	6. 6	
倒伏程度	1.3	1.0	1 (無・微) ~ 9 (甚)
病害程度	8.0	8.0	〃
草丈 (1 番草 ; cm)	94	87	
草丈 (2 番草 ; cm)	78	69	
草丈 (3 番草 ; cm)	33	32	
秋の被度 (%)	88	93	

- (注) 1 発芽良否は平成18年秋、越冬性は平成19年春の調査。
 2 早春の草勢、出穂始期、草丈は平成19～21年の3か年平均。
 3 病害は平成19年の2番草に葉枯性病害が発生した。
 4 倒伏は平成21年の1番草に発生した。
 5 秋の被度は平成21年最終刈り後の基底被度。

表2 利用年次別乾物収量 (kg/10a) (平成19～21年 青森畜産研)

品種名	利用1年目 (平成19年)	利用2年目 (平成20年)	利用3年目 (平成21年)	3か年 平均
ホライズン	809(129)	1,055(128)	1,181(109)	1,015(120)
ノサップ (標)	629(100)	824(100)	1,082(100)	845(100)

(注) () 内数字は標準品種を100とした指数。

表3 番草別乾物収量 (kg/10a) (平成19～21年 青森畜産研)

品種名	1 番草	2 番草	3 番草
ホライズン	649(121)	224(130)	142(104)
ノサップ (標)	537(100)	172(100)	136(100)

- (注) 1 平成19～21年の3か年平均収量
 2 () 内数字は標準品種を100とした指数。

耕種概要

- 試験場所 畜産研究所内圃場
- 播種期、播種量及び播種様式：平成18年8月31日、2kg/10a、散播
- 施肥量 土壌改良資材：炭カル；300kg/10a、ようりん；P₂O₅で25kg/10a
 基肥：N-P₂O₅-K₂O＝5-5-5kg/10a
 追肥：以下のとおり

追肥量 (N-P₂O₅-K₂O) (kg/10a)

年 次	早 春	1 番草後	2 番草後	年間計
利用1年目	5.0-3.3-3.3	3.0-2.0-2.0	2.0-1.3-1.3	10.0-6.6-6.6
利用2年目以降	8.0-5.3-5.3	4.8-3.2-3.2	3.2-2.1-2.1	16.0-10.6-10.6

- 刈取期
 1番草は「ノサップ」の出穂始期、再生草は「ノサップ」の草丈が60～70cmに達した時期。

